

こんにちは 魚沼市議会です

No.2

春はいずこ

19年ぶりの豪雪となった魚沼市。
豪雪対策本部を設置し、除雪作業をフル回転するも
追いつけないほどの大雪となった。
(守門地区須原 撮影2月7日 3m60cmを記録)

12月定例会	2~7 P
一般質問	8~24 P
委員会報告	25~31 P
市民の声	32 P

発行責任者 議長 小幡 真次・広報編集委員長 大塚 秀治・副委員長 佐藤 貞一
委員 大平 悦子・五十嵐 昭夫・佐藤 喜郎・星野 邦子

1.1
H17.3.31)

よちやく決まる

億6,000万円

災害対応の内訳

民生費

- | | | |
|------------------|-----------|-------------------------------|
| 1. 災害救助費 | 1億631万円 | 扶助費7,800万円
災害救助事業、避難所管理事業地 |
| 2. 住宅応急
修理支援費 | 1億9,850万円 | 大規模半壊160万、半壊110万 |
| 3. 生活再建
支援事業 | 1億3,200万円 | 倒壊家屋の処理、
生活必需品の購入費用等 |

災害復旧費

- | | | |
|----------|------------|-------------------------------------|
| 1. 農業施設 | 3億7,280万円 | 田、水路、ため池等復旧工事(117ヶ所)
2億8,000万円 外 |
| 2. 林業施設 | 2億3,190万円 | 林道復旧工事(82ヶ所)
約1億4,000万円 外 |
| 3. 水産業施設 | 2億7,549万円 | 養鯉池復旧工事(250ヶ所)
2億5,000万円 外 |
| 4. 土木施設 | 12億7,339万円 | 市道等復旧工事(93ヶ所)
約11億5,000万円 外 |
| 5. 文教施設 | 10億2,993万円 | 小中学校舎等復旧工事(20ヶ所)
約6億9,000万円 外 |

諸支出金

- | | | |
|------------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. 災害援護
資金貸付金 | 1億2,000万円
(100%起債) | 予算枠超過、補正で対応予定、
実質無利子 |
|------------------|-----------------------|-------------------------|

予備費

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 予備費 | 9億9,932万円 |
|--------|-----------|



堀之内地区新道島

12月 定例会

平成16年度、第1回定例会が12月24日から翌月の1月31日まで39日間という異例の会期で開催された。

議会初日、初代魚沼市長に就任した星野芳昭氏より所信表明が行われた後、合併に伴う専決処分承認の他、平成16年度一般会計・特別会計・企業会計等15件の予算が提案された。

平成17年1月11日から一般会計予算に対する質疑が行われたが、執行部の合算ミスが発覚、全予算案を撤回し再提出するという異例の事態となった。

翌日の議会では副市長、収入役、教育委員会委員、監査委員等の選任議案が提出されたが、佐藤武邦前入広瀬村長については「選挙の論功行賞だ」とする意見もだされたが、承認された。

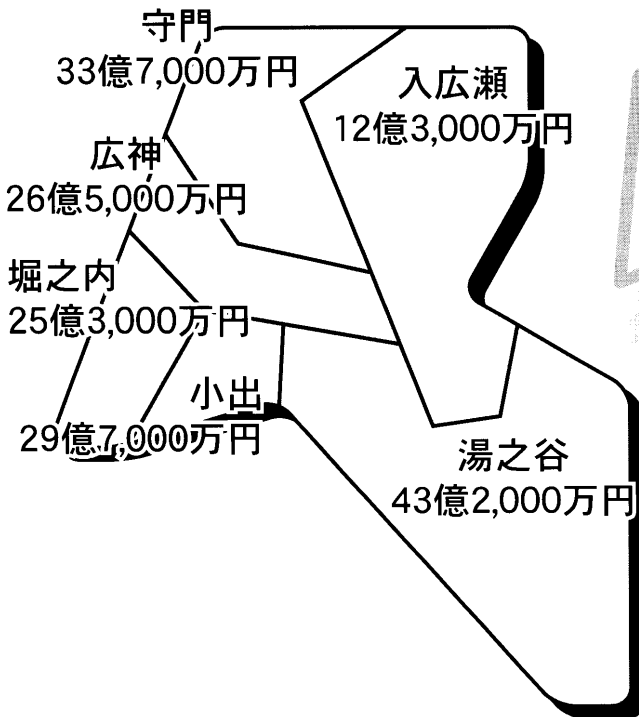
全面撤回から再提出された平成16年度本予算の質疑が1月28日から3日間にわたり行われ、慎重に審議した結果すべて原案のとおり可決された。

尚、1月8日から3日間にかけて一般質問が行われ、33人の議員が登壇、市政をたじた。

平成16年度予算 (H16.1)

一般会計 総額230億

旧町村の持寄分
170億7,000万円



市制による
県移管事務費
1億1,000万円

一部事務組合
15億5,000万円

災害対応
43億3,000万円

1月17日 地震災害に対応するため、暫定補正予算を可決(本予算が撤回され、執行が遅れる事への措置)

民生費	7,800万円	災害見舞金	全壊30万円 半壊15万円
	1億3,200万円	生活再建支援金	427件
災害復旧費	2,452万円	エコプラント	
	8,350万円	中学校体育館等(小出中、守門中、入広瀬中)	
	2,655万円	スポーツセンター(入広瀬)	
諸支出費	6,000万円	災害援護資金貸付金(3ヶ月以内申請)	

平成16年度 企業会計予算

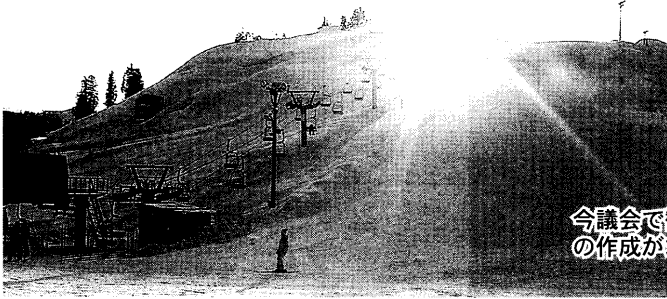
計 24億5,391万円
(収益的支出+基本的支出)

- 病院事業 4億6,630万円
- ガス事業 7億3,607万円
- 上水道事業 3億8,573万円
- 簡易水道事業 3億706万円
- 公共下水道事業 5億895万円
- 農業集落排水事業 4,980万円

平成16年度 特別会計予算

計 102億4,800万円

- 国民健康保険 20億7,200万円
- 老人保健 23億8,400万円
- 介護保険 16億4,400万円
- 診療所 5,600万円
- スキー場 3億9,800万円
- 宅地造成事業 1,000万円
- 簡易水道事業 6億6,400万円
- 流域関連下水道事業 14億5,000万円
- 下水道事業 15億7,000万円



今議会で観光施設のバランスシート(貸借対照表)の作成が求められた。(小出スキー場)

12月定例会承認事項

平成17年1月11日(火)

◆魚沼市職員の寒冷地手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について、ほか14件の条例の制定について、および土地改良事業計画概要を定めることについての3件をそれぞれ関係する常任委員会において慎重審議の結果をふまえて、各委員長より報告が行われ、提案どおり承認。

平成17年1月17日(月)

◆災害救助費を含む関連経費総額4億457万円を一般会計暫定予算に追加補正を承認

内訳

- 災害見舞金扶助費 7,800万円
- 被災者生活再建支援金 1億3,200万円
- 文教施設災害復旧費等 1億3,457万円
- 災害援護資金貸付金 6,000万円

第1回臨時議会

平成16年11月26日(金)

◆専決処分事項

29議案を承認

○魚沼市役所の位置を定める条例ほか213件の条例の制定についてを一括承認。

○平成16年度魚沼市一般会計暫定予算の総額169億5,000万円を承認。

○平成16年度魚沼市国民健康保険ほか特別会計8件総額96億1,650万円を承認。

○平成16年度魚沼市病院事業ほか企業会計5件(収益的収支のみ)総額13億4278万円を承認。



堀之内病院

全予算案撤回

1月11日に開かれた12月定例会本会議で審議中の平成16年度一般会計予算案に、地域振興費5億5,500万円が二重計上されたほか、基金取り崩し額が予算書と説明資料で約1億1,000万円が合わないことを議員より指摘された。

これに答弁できないことから長時間にわたり審議を中断した。議会再開後星野市長より「あってはならないミスをした。提案した全予算を撤回します。」と陳謝があり、「再精査した上で再提案したい」旨の申し出があった。このため議会運営委員会が開かれ、会期を31日まで延長することとなった。

地域振興費の中の一部二重計上分の訂正について

市長 一般会計予算のうち地域振興費の中で誤って2重計上したものがあつた。総額5億5,500万円は予備費に計上し、2月補正予算で訂正する。

問 このことは、本予算案に対する質問表を1月4日に通告した後に誤りに気付くという、訂正以前の問題である。

答 議案は慎重に精査する必要があつた。申し訳ない。

問 議長も事務局長も知らない中で、担当課が質問通告表をとり下げてほしい云々は議会軽視ではないか。

答 本当だとすればあつてはならない行為だが、トップとしては職員を信じるしかない。

問 予備費に2重計上分5億5,500万円を入れたなら、予備費も訂正が必要でないか。

答 予備費についても連

動する部分は訂正する。

問 湯之谷から提出された資料（H16・11・1現在の引き継ぎ明細）を提出されたい。

答 湯之谷の経過はわからないが、提出された資料により作成した。

問 2重計上したものを、そつくり予備費計上は問題があり、現に慎しむべきだ。

答 以後、このようなことがないように気を引きしめとりくむ。

◇採決の結果、賛成多数で訂正案を承認◇

本予算案と説明資料の数値が違っている点について

問 基金取り崩し額と説明資料の数値に1億1,017万円の違いがある。

◇説明答弁ができず会議を中断し、議会運営委員会が数回にわたり協議◇

市長 今回提案した全予算を撤回し、チェックし直して、新たに提案した

い。6か町村の数字合わせとなり内容に一貫性を欠いていた。

問 予算提出時に、補足説明を求めたが、市長は必要なしとした。結果として、このことが今回の問題に結びついたと思う。

問 予算編成の仕方が悪い。災害については、専決処分等で速やかに対応が必要であるが、市長の配慮が足りない。



地域振興費の二重計上と基金取崩し額の違いから審議が中断、全予算の撤回となる。(議場)

市議

本定例会で提出された平成16年度予算の全面撤回から、再提出された魚沼市本予算（11月1日～3月31日迄）が、1月28日から3日間にわたり本会議場で審議された。

一般会計予算に対する質問議員は23名で、主な質疑内容は以下の通りである。

市 税

問 ゴルフ場利用税交付金の平成16年総額は。

答 旧広神・旧堀之内合算で930万円、うち魚沼市に引き継がれたのは、754万円である。

問 市税の暫定予算比1億8、800万円減となった理由は。

答 合併時の未収入額が少なくなったため。

問 町道負担金は旧堀之内のみだ。止めては。

答 平成16年度のみで平成17年度より対等となる。市税の滞納額が膨らんでいるが、新市になって見直しはどうか。

問 滞納繰越額は、2億7、300万円。期間が長くなっても対応していく。悪質な滞納者には、それなりの対応処分が必要と考える。

総 務 費

問 前代未聞の予算の撤回が行われた原因は何か。

答 職員の通告質問の取り下げ要請は市長の指示か。

問 震災後、手を取られ合併事務が手薄で間違いが起きた。申し訳ない。市長指示ではない。責任問題はこの定例会後に。

問 予算書の作り直しでいくらかかったのか。

答 再提出にかかった金額は算定していない。

問 会期延長で議員の費用弁償は114万円増えた。職員の休日手当はどうか。

答 職員は休日ばかりでなく通常勤務も使って作成したのでわからない。

問 総合事務所に、ある程度の権限を与えるべきでは。

答 市民の声を拾うため総合事務所を各庁舎につくった。魚沼市に於ける分権化を適性にするためでもある。

問 職員の適性人数は。

答 190人程度の削減目標だが似た市での人数

からいくと150人位多いと思う。

問 貯金38億円、借金700億円の財政内容をどう考えるか。

答 厳しい財政内容と認識している。

問 魚沼市となつて、大がかりのシステムを持ちながら、専属のエンジニアがいなのはおかしい。エンジニアの採用も含めた予算を検討してはどうか。

答 参考に使わせてもらう。地域民間労働者に比べて、市職員待遇は良すぎる。市長選挙で市長は行政スリム化の具体策は人員削減、職員の賃金カットであった。人件費で給料より手当が多額の現状をどうみるか。

問 行政改革推進本部等を設置し、建設計画を現に向けていかなければならない。

答 行政改革推進本部等を設置し、建設計画を現に向けていかなければならない。

民 生 費

問 保育料金の軽減率は。また県内の市で何番目。

答 軽減率は33%～35%。県内で4・5番目と高い。

問 高齢者除雪援助に不満はないか。

答 対象者申請は、310世帯、落下式家や、市内に子や孫がいても対象として要望がある。

問 障害者・福祉団体等のバス利用が合併で有料になると聞か。

答 旧町村のとり組みがまちまちだった。意見を参考に検討。

問 0歳から入学までの乳幼児医療費が合併で一部負担が有料と成ったが。財政状況をみながら検討。

農 林 費

問 農地の災害復旧で、自分で直した40万円以下の小規模工事に救済は。

答 市独自で制度を検討中。

問 深雪茄子、アスパラ等の地場産農作物の地産地消及びブランド化と山菜団地整備は。

答 魚沼の農産物の販売拡大を図りながら農村交流を進めていく。



ゴルフコースにも土砂崩れなどの被害が出た。(越後道光高原ゴルフ場)

平成16年度予算審

商工費

問 企業誘致対策は、小出地区だけでなく堀之内地区も含めて魚沼市として展開してゆく。

答 合併で第3セクターの観光施設がほとんど市営となった。民間の経営感覚が必要であり、パランスシートの作成を求め

問 合併で第3セクターの観光施設がほとんど市営となった。民間の経営感覚が必要であり、パランスシートの作成を求め

答 検討したい。

問 スキー場、温泉施設が新市に引き継がれたが、効果対費用もあり施設管理制度を使ってはどうか。

答 地域に与えた役割や効果も大きいものがあり、効果だけで言えない部分もある。いずれ施設管理制度も考えてゆく。

土木費

問 震災で地元の零細建設業者の積極的活用は、なるべく地元を頼みたいが単年度で膨大な量を直すのは無理かと思う。

消防費

問 地域防災計画をまだ立てていないが、何時までにするか。

答 県と話し合っている。

教育費

問 不登校対策で県は「なるべく早く通えるようにする施策」だが本市ではどうか。

答 各学校の指導員など強化したい。

問 スクールバスをスポーツ少年団にも使えないか。入広瀬は手厚かつたが。

答 目的外の使用は避けたいがスポーツ少年団に引き続き貸し出す。使用規定を作成中。入広瀬で

問 地震災害による産業廃棄物処理の対応は。

答 除雪等で現実的には処理が不可能であり、国に対し次年度に繰越を認めよう。

災害復旧費

問 地震災害による産業廃棄物処理の対応は。

答 除雪等で現実的には処理が不可能であり、国に対し次年度に繰越を認めよう。

問 国への支援費が使えない住居について、市独自の支援策はとれないか。

答 大変難しい問題が含まれている。



土砂崩れで不通となった上越線
(堀之内地区下島)

選任に同意

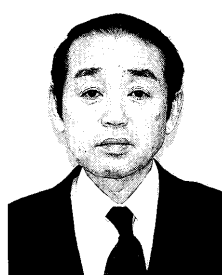
副市長



佐藤 武邦

●前職 入広瀬村長
●住所 魚沼市六沢 184-2
●生年月日 S17・8・25
●任期 H17・1・12～
H21・1・11

収入役



星 忠嗣

●前職 湯之谷村助役
●住所 魚沼市下折立42
●生年月日 S23・5・7
●任期 H17・1・12～
H21・1・11

監査委員



(識見者)

佐藤 英重

●住所 魚沼市横根 1904
●生年月日 S18・9・21
●任期 H17・1・12～
H21・1・11

(議員選任者)



山田 仁規

●住所 魚沼市根小屋 1089
●生年月日 S17・5・30
●任期 H17・1・12～
H18・4・30

他に、教育委員会委員、
固定資産評価審査委員を選任。